



球陽高校創立記念日

球陽高校は、昭和63年（1988年）11月25日に設立認可され、昭和64年度（平成元年度）高校入学定員を理数科（160名）、国際英語科（180名）合計340名と決定しました。

昭和64年1月1日職員人事が発令され、初代校長に県立北谷高校の新屋太郎校長となりました。高校入試は、北中城高校で行われ、平成元年4月8日に第1回入学式が山内中学校で行われました。当時の記録を読むと、新入生は自分の椅子を球陽高校プレハブ校舎から山内中学校まで運び、終了後に球陽高校まで運んだそうです。

球陽高校は、学校法人国際学園中央高等学校跡地に建てられました。中央高等学校は、1957年（昭和32年）に、普通科・商業科・自動車科・被服科・土木科・電気科から成る中部唯一の私立の総合高校として開校し、戦後の沖縄において2番目に設立された私立高等学校です（最初に設立されたのは沖縄高等学校（現・沖縄尚学高等学校））。設置者は財団法人コザ学園で、高校開校後の1959年（昭和34年）に高校の敷地内に琉球国際短期大学（後の国際大学、現在の沖縄国際大学の母体）を開校しています。

その後、大学は1972年（昭和47年）の本土復帰により宜野湾市に設立された沖縄国際大学に統合されたが、高校は存続しました。しかし、復帰後の県立高校の相次ぐ新設に伴い経営が悪化し、1984年（昭和59年）をもって閉校となった。跡地は県に買い取られ、5年後の1989年（平成元年）4月に沖縄県立球陽高等学校が開校しています。中央高校の記念碑は、校門から入って右手にあります。一度ご覧になって下さい。



当時の中央高等学校 運動場

球陽中学校は、平成26年12月に沖縄県教育委員会会議において「併設型中高一貫教育校基本計画」が定められ、平成27年1月に「沖縄県立球陽中学校」に決定しました。

同年10月1日に球陽中学校設置と開校準備室看板の掲示がなされました。同年3月に中学校多目的教室及び技術教室が完成し、平成28年4月7日に、開校式及び第1回入学式が挙行されています。

Qオリンピック

中学部では、11月26日(木)4校時に生徒会主催で、「Qオリンピック」が開催されました。コロナ禍で体育祭も中止となり、大きな行事がない中、学年での取組や保護者とのレクなどを行ってきましたが

- ① クラスの団結を深める。
- ② 生徒会役員を中心に生徒主体の運営を通して、自治活動の活性化を図る。

このことを目的として、行われました。

全6クラスでの対抗リレーが行われ、みごと3Aが優勝しました。おめでとうございます。

みなさん！楽しかったですでしょうか。



アドラーの言葉

怒りで人を動かそうとする人は幼稚である

子供は「感情」でしか大人を支配できない。大人になってからも、感情を使って動かそうとするのは幼稚である。



生まれたばかりの赤ん坊は言葉を話すことができません。「おっぱいが欲しい」「おしめが濡れて気持ちが悪い」「淋しいから抱っこしてほしい」。それを伝える唯一の方法は「泣く」という感情表現だけなのです。ですから、赤ん坊は「泣く」という感情表現を通じてあらゆる望みを手に入れます。そして、それを繰り返すうちに、「感情を使用する」ことで必要なものを手に入れることができる、と「学習」するのです。

子供は1歳に満たないうちから性格形成を始めます。つまり、言葉を話す前から性格ができ始める。「泣いたり怒ったりすることを通じて、すべてを手に入れられる」。赤ん坊の頃からそれを「学習」した子供は、その成功パターンを「性格」として刻みつけます。

そして、子供時代も、さらには大人になってからも、その「性格」を使い続けるのです。

もしも、あなたの周囲に感情的な人、すなわち、感情を頻繁に利用する人がいたら、その人は子供時代の成功パターンを繰り返し利用しているのかもしれない。怒りで周囲を動かそう。涙で相手を思い通りに動かそう。そうしているのです。

しかし、感情だけがものごとを達成する唯一の方法ではありません。にもかかわらず、大人になってからも感情表現で人を動かそうとする人は、内面的に幼稚なままだ、といえるでしょう。